

平成21年度事業報告及び収支決算について

事業報告

(財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進させ、そのことにより市民福祉の向上に寄与することを目的とした事業を運営している。

平成21年度は、協会を取り巻く環境の変化や市の市民福祉に係る施策の方向を踏まえ、より一層の運営改善を図るため策定した「中期経営計画2010（計画期間：平成20年度から平成22年度の3ヶ年）」の2年目であり、引き続き効率的な経営に取り組むとともに、市民福祉を振興するための各種事業に取り組んだ。

(1) 市民福祉向上のための事業については、

福祉意識の向上・啓発として、機関紙等の活用による福祉情報の提供を行うとともに、福祉機器展示コーナーにおいて福祉情報の発信、福祉相談、福祉用具の展示及び福祉用具リサイクル事業を行った。

福祉人材の育成・スキルアップとして、「しあわせの村」でのボランティアの養成や活動の支援などを行った。

また、市民の福祉活動を側面的に支援するため、福祉活動への助成を行った。

(2) 市民福祉施設の管理運営については、

サン舞子マンションは、管理運営を社会福祉法人に委託する一方、早期の事業終了に向けて、入居者の理解と協力を得ながら関係者との協議を進めた。

垂水海浜センターにおいては、垂水年金会館及び駐車場を管理し、市民の利用に供した。

保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺については、引き続き民間経営のノウハウを活かした運営を行った。

(3) 介護保険事業の実施については、

市から「要介護認定調査業務」及び地域包括支援センターの「巡回調査業務」を受託し、在宅福祉における公的団体として、行政の補完的役割を果たした。

(4) 「しあわせの村」の運営については、

指定管理者として、障がい者就労カフェの開設等、「しあわせの村」を基盤とした市民福祉の総合的推進に取り組むとともに、更なる顧客満足度の向上と運営の効率化を図った。

また、民間事業者等と共同事業体を構成して、指定管理者の公募に応募し、平成22年度から平成25年度までの指定管理者に指定された。

1 福祉意識の啓発

市、事業者及び市民の三者の連携による市民福祉の理念への理解を深めるための啓発事業を実施した。

(1) 情報誌の発行

市民福祉の啓発と協会の事業紹介を目的として、機関紙「市民ふくし～しあわせの村だより」を発行した。

発行回数 年6回 (年6回)
発行部数 15,000部/回 (15,000部/回)

※ 以下()内の数値は、特に記載のあるものを除き20年度実績である。

(2) 協会ホームページの運営

協会の事業内容を幅広く情報提供するため運営しているホームページについて、より見やすい内容に刷新した。(平成22年3月)

(協会ホームページURL <http://www.kobe-wa.or.jp>)

アクセス件数 53件/日 (59件/日)

(3) 福祉機器展示コーナーの運営・福祉機器リサイクル事業の実施

① 福祉機器展示コーナー

身体障がい者や高齢者の快適な生活を支援するために、市立心身障害福祉センター内に福祉用具や介護用品などの日常生活に必要な用具・用品を展示するとともに、最新の福祉機器情報を提供する「福祉機器展示コーナー」を運営した。

展示福祉用具 電動ベッド, 車いす, 歩行器, 入浴補助用具, 手すりなど約500点
[利用状況]

開設日数	来場者数	相談件数
268日 (262日)	4,538人 (4,186人)	1,354件 (955件)

② 福祉機器リサイクル事業

福祉機器展示コーナーに「善意の品物交換情報」の掲示板を設置し、使用していない福祉用具(車いす, ベッドなど)のリサイクル情報の提供, 仲介, 調整を行うとともに, 必要な場合に運搬費などの援助を実施した。

[福祉機器リサイクル事業の実績] (件数)

① 申込件数	142 (146)
譲ります	77 (68)
譲って	65 (78)
② 契約成立件数	38 (46)
ベッド	19 (27)
車いす	15 (16)
その他	4 (3)
③ 運搬費等支援件数	9 (15)

(4) 「しあわせの村」での啓発事業

① 「ふれあい体験学習」の実施等

社会福祉に関心を持つグループ・学校・企業などを対象に、福祉に関する講義、車いす、白杖及び高齢者擬似体験用具を用いた介助実習、村内福祉施設での実習並びに車いす等の貸し出しを行った。

ア ふれあい体験学習

- 28団体 1,721人 (31団体 2,166人) ※次の重複利用を除く純計
- ・車いす、アイマスク体験 26団体 1,590人 (28団体 1,952人)
 - ・高齢者擬似体験 11団体 565人 (14団体 612人)
 - ・村内施設実習 7団体 473人 (6団体 372人)

イ 車いす・アイマスク・高齢者擬似体験用具の貸し出し
25団体 (22団体)

② 介護研修の開催

「しあわせの村」婦人交流施設「たんぼぼの家」において、介護知識・技術の取得などを目的とした在宅介護者への介護研修を行った。

3回 19人 (2回 23人)

③ 「第20回こうべ福祉・健康フェア」の開催

社会福祉施設及び障がい者団体による模擬店の出店や健康に関する正しい知識の普及・啓発を行うことにより、互いに福祉や健康について語り合い、ふれあう機会として「こうべ福祉・健康フェア」を、神戸市等との共催により開催した。

開催日 平成21年10月4日 参加者数 10,000人(2,000人)

(※ 20年度は雨天のため屋内イベントのみを実施)

④ 福祉ショップ等における授産品販売機会の提供

障がい者団体（神戸市肢体障害者福祉協会，神戸市手をつなぐ育成会，神戸市精神障害者家族連合会）に福祉ショップとして場所を提供し，土産品や授産品等の販売を通じて来村者の利便を図るとともに障がい者への理解を深めた。

また，村内障がい者施設による授産品販売会の開催（年3回）やイベント開催時に市内障がい者施設に対し授産品等の販売の場の提供を行った。

2 市民の福祉活動の振興

市民の福祉活動への参加を促進し，市民福祉を維持し高めるための事業を行った。

(1) 社会福祉事業・福祉活動への助成

市内で意欲的に活動しているボランティアグループや社会福祉活動を行っている団体を対象に，備品購入費等の助成を行った。

[助成件数]

件数	金額（1件当り原則50万円を限度）
13件（19件）	4,170千円（3,748千円）

(2) ボランティアの養成を目指した講座の開催

手話講習会受講者	年26回	30人（年26回 27人）
点訳講習会受講者	年25回	22人（年25回 9人）
ボランティア研修・交流会	年2回	延40人（年1回 12人）

3 市民福祉事業の企画及び実施

福祉を取り巻く社会経済情勢の変化に対応しながら，市民福祉の向上のための事業を企画実施した。

(1) 福祉情報等提供コーナーの充実

「しあわせの村」総合センター内の福祉情報等提供コーナーを市内障がい者施設の授産品やユニバーサルデザイン製品を展示するコーナー（愛称「はっぴねすコーナー」）へと拡充し，来村者への福祉情報の提供や福祉意識の啓発を行った。

(2) 障がい者就労カフェ事業

障がい者就労の場の確保と来村者への福祉意識の啓発を目指し、「しあわせの村」総合センター1階に障がい者と健常者がともに働くカフェを設置するため、運営事業者の公募・選定及び店舗の改修工事を行った。（平成22年4月1日オープン）

(3) ユニバーサルデザインの推進

- ① 市が進めるユニバーサルデザインの一環として、協会において策定した「ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を反映しながら、誰にでもやさしい「村」づくりを進めた。
 - ・ 障がい者駐車場の案内板整備や歩道舗装の改修等
 - ・ 総合センター内にユニバーサルデザイン製品等を展示するコーナーを設置
 - ・ 「こうべ・だれでもトイレ(多機能トイレ)」(2ヶ所増設により村内4ヵ所)
 - ・ 聴覚に障がいのある宿泊者に災害発生を通知する振動枕等の備品を配置
 - ・ 温泉健康センター介護浴室及びプール更衣室に天井走行式リフトを設置
 - ・ 宿泊室内レイアウト等点字案内の拡充 等
- ② 障がい者施設やボランティア団体と連携し、市の開催する啓発イベント等に参加・協力した。
 - ・ 「こうべユニバーサルデザインフェア2009」等への参加
 - ・ 「こうべUD大学」への参加・協力

4 高齢者等のための市民福祉施設の管理運営

(1) サン舞子マンションの管理運営

サン舞子マンションの入居者に住居と健康管理・食事その他の提供を行った。なお、マンションの管理運営は、マンションの一部（北1・2号館）の跡地でケアハウスを運営する社会福祉法人神港園に委託した。

また、今後の事業運営に関して、入居者の意向を踏まえながら、事業の終了に向けた取り組みを行った。

管理戸数 91戸

年度末入居戸数 32戸(37戸)、入居者数 35人(40人)

(2) 垂水海浜センターの管理運営

市民の教養文化の向上と福祉の増進を図るため、垂水年金会館及び駐車場の管理運営を行った。

[利用状況]

施設内容	利用人数・台数	利用件数
垂水年金会館	97,323人 (103,959人)	
ホール・会議室	58,152人 (62,904人)	2,147件 (2,387件)
児童館	9,302人 (9,535人)	
地域福祉センター	19,602人 (21,411人)	
区社協ボランティアセンター	10,267人 (10,109人)	
駐車場	17,826台 (19,021台)	

(3) 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺（なでしこの湯）の運営

高齢者及び障がい者をはじめ、多数の市民に保養と健康維持の場として利用されている保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺（愛称「なでしこの湯」）を、民間の経営ノウハウを活かして運営した。

[利用状況]

施設内容	利用人数
宿泊棟	10,608人 (11,130人)
温泉棟	262,792人 (240,562人)

5 神戸市からの委託による市民福祉事業の実施

介護保険法に基づき、公正・中立性が要求される「要介護認定調査業務」及び地域包括支援センター(市内74か所)の「巡回調査業務」を市からの委託を受けて実施した。

要介護認定調査処理件数 延23,590件 (延23,267件)

巡回調査訪問回数 延 1,821回 (延 1,799回)

6 総合福祉ゾーン「しあわせの村」の運営

「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現をめざし、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民があたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いの心を育み、「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場として、「しあわせの村」の総合的運営を行った。

21年度は、新型インフルエンザによる施設利用のキャンセルや温泉・プールの大規模改修による長期休業のため、全般的に利用者が減少した。

[平成21年度「しあわせの村」利用状況]

	利用者等	対前年度比	収入額
入村者総計	1,752,100人 (1,832,500人)	95.6%	
入村車両総数	1,529,211台 (1,526,341台)	100.2%	
有料車両数	318,523台 (312,754台)	101.8%	141,152千円
うち回数券車両数	116,082台 (108,885台)	106.6%	
施設利用者合計	1,042,274人 (1,109,723人)	93.9%	
宿泊施設	81,060人 (93,081人)	87.1%	※227,962千円
宿泊館(総合センター)	33,558人 (38,737人)	86.6%	※109,655千円
たんぼぼの家	11,411人 (13,537人)	84.3%	※44,484千円
あおぞら	24,977人 (28,070人)	89.0%	※39,860千円
保養センターひよどり	11,114人 (12,737人)	87.3%	※33,963千円
研修館	93,130人 (97,387人)	95.6%	※5,937千円
温泉	218,449人 (247,680人)	88.2%	※101,424千円
屋内運動施設	295,762人 (306,056人)	96.6%	※49,757千円
プール	100,215人 (110,223人)	90.9%	※27,012千円
体育館	111,344人 (112,452人)	99.0%	※11,102千円
トレーニングジム	84,203人 (83,381人)	101.0%	※11,644千円
屋外運動施設	353,575人 (365,110人)	96.8%	※58,569千円
茶室	298人 (409人)	72.9%	270千円

・ ※は、平成21年度神戸市収入額。

・ 温泉は2月1日から26日まで、プールは1月18日から20日まで及び2月1日から26日までの間、改修工事のため休業

(1) 施設の管理運営

① 指定管理者として、市民福祉の理念の実現を目指し、市民の福祉意識の高揚、福祉活動の推進、健康増進等の事業を行った。

宿泊施設、温泉健康センター、スポーツ施設等については、引き続き管理運営を委託し、協会の総合調整のもと民間専門事業者の有するノウハウの有効活用による更なる顧客満足度の向上と運営の効率化に向けた取り組みを行った。

また、指定管理者の公募にあたり、協会は代表法人として、各施設を運営する民間事業者等と共同事業体を構成して応募し、平成22年度から平成25年度までの指定管理者に指定された。

② ユニバーサルデザインの推進（再掲）

「3 市民福祉事業の企画及び実施」の(3)参照

③ お客様満足度の調査

来村者の意見を把握することにより「しあわせの村」の利用者満足度の向上や集客増を図るため、入村者アンケートを行い(11月)、運営の改善に努めた。

また、村内施設に設置している「利用者意見箱」や「支配人への手紙」でも利用者の意見を把握した。

④ 健康づくりの支援

健康をテーマとした教室や各種スポーツ教室を実施し、市民の健康づくりの支援を行った。

⑤ 季節を感じる魅力の発信

市民の憩いとリフレッシュの場として人気の高い「村」の豊かな自然環境を生かし、日本庭園を夜間開放して、桜や花菖蒲のライトアップ、月見イベントを行うとともに、バードウォッチングガイドの頒布、野鳥観察会などを行い、季節を感じる話題づくりによる「村」のイメージアップを行った。

また、花の少ない冬期の魅力向上のため、新たに水仙ロードを整備した。

⑥ 開村20周年事業の実施

平成21年4月23日に「しあわせの村」開村20周年を迎えたことから、各種イベントの内容を拡充するとともに、記念鼎談・コンサートを実施した。

⑦ 新たな利用促進への取り組み

温泉健康センター内に、地場野菜や産直鮮魚、授産品等の販売コーナーを設置するための改修工事を行った。(平成22年5月1日オープン)

(2) 高齢者・障がい者の自立や社会参加への援助

「しあわせの村」の理念を実現するため、管理運営委託事業者と共に村内で高齢者・障がい者の就労の場の確保を図るとともに、自立や社会参加のための活動を援助した。

- ① 「しあわせの村」の運営業務に従事する職員に、高齢者・障がい者を雇用した。

雇用者数 84人 (95人)

- ② 村内の園地管理、空き缶回収、ゴミ分別収集業務を(株)いくせいに委託し、知的障がい者の就労機会の確保を図った。

就労者数 46人 (46人)

- ③ 村内の園地管理やキャンプ場の受付等にシルバー人材センターへの委託や人材派遣により、高齢者の就労機会の確保を図った。

就労者数 26人 (30人)

- ④ 村内の管理業務の一部を村内の障がい者施設に委託して実施した。
- ・ 宿泊館リネンの交換・清掃 (ワークホーム緑友, グリーンホーム平成)
 - ・ 保養センターひよどり周辺の園地管理 (ワークホーム緑友)
 - ・ プール・体育館の清掃 (ワークホーム緑友)
 - ・ 自動販売機の管理 (ワークホーム明友)
- ⑤ 「しあわせの村」の自然資源等を活用したオリジナル製品を市内障がい者施設と共同で製作した。
- ・ しおり, メッセージカード(御影倶楽部)
- ⑥ 業務に必要な物品を村内外障がい者施設から購入した。
- ・ 客室用瓦せんべい(ワークホーム須磨)
 - ・ ポリ袋(ワークホーム明友)
- ⑦ 村内に飾るバナーの製作などを村内社会福祉施設に依頼した。
- ⑧ 福祉ショップ等における授産品販売機会の提供 (再掲)
「1 福祉意識の啓発」の(4)④参照
- ⑨ 総合センター内での授産品の展示 (再掲)
「3 市民福祉事業の企画及び実施」の(1)参照
- ⑩ 障がい者就労カフェ事業 (再掲)
「3 市民福祉事業の企画及び実施」の(2)参照

(3) 在宅福祉・地域福祉の推進

- ① 介護研修の開催 (再掲)
「1 福祉意識の啓発」の(4)②参照

- ② 多目的ショートステイ施設「保養センターひよどり」において、高齢者等の健康維持増進や心身機能維持向上などを目的とした健康教室、高齢者デイサービス事業を行った。

健康教室 10回 112人（10回 127人）
 デイサービス 147回 1,965人（147回 1,894人）

- ③ 主として卒業生で結成するNPO法人「社会還元センターグループわ」とも連携し、シルバーカレッジの学生が地域で行う福祉施設等での慰問活動や、小学校・特別支援学校での子どもたちの学習支援活動等のボランティア活動に対する支援を行った。

(4) 市民ふれあい事業の企画及び実施

すべての市民が「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場を提供するため、各種の教室を実施するとともに、村内の施設が一体となって行うイベントなどを企画し、実施した。

- ① 高齢者、障がい者向けを主とした教室等の開催

高齢者・障がい者等の健康増進・機能回復・生きがづくり・社会参加の促進を図るため、各種教室等を実施した。

[高齢者向けスポーツ教室]

教室名	参加者数
水中健康体操	124人（117人）
高齢者水泳	188人（161人）
卓球	120人（121人）
バドミントン	62人（62人）
テニス	161人（175人）
アーチェリー	158人（125人）
合計	813人（761人）

[障がい者向けスポーツ教室]

教室名	参加者数
身体障がい児親子水泳	99人（90人）
知的障がい児親子水泳	150人（137人）
身体障がい者水泳	84人（82人）
知的障がい者水泳	101人（91人）
身体障がい者卓球	65人（62人）
身体障がい児運動あそび	15人（13人）
知的障がい児運動あそび	22人（23人）
身体障がい者テニス	60人（62人）
身体障がい者アーチェリー	73人（67人）
合計	669人（627人）

[リハビリ水泳教室]	363人 (405人)
[60歳からの男性料理教室]	72人 (72人)
[一般向けアーチェリー教室]	492人 (530人)

② 体験騎乗の実施

馬事公苑において、健常者、障がい者、また年齢を問わず誰もが気軽に乗馬を楽しめる体験騎乗やポニー騎乗を実施した。

種 目 名	参 加 者 数
一 般 騎 乗	405人 (466人)
体 験 騎 乗	1,837人 (2,233人)
ポ ニ ー 騎 乗	7,853人 (6,858人)
乗 馬 教 室	955人 (985人)
合 計	11,050人 (10,542人)
[うち障がい者騎乗数]	1,061人 (1,134人)

③ 第19回しあわせの村まつりの実施

村内の施設や地域住民が一体となって、広く市民が交流する場として、しあわせの村まつりを開催した。

開催日 平成21年7月25日 参加者数 3,000人(38,000人)

(※ 当日雨天のため屋内イベントのみ実施)

④ 第22回こうべ長寿祭の開催

スポーツや文化活動を通じて、高齢者の心身の健康保持・増進を図り長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的として「こうべ長寿祭」を開催した。

また、「全国健康福祉祭」(北海道・札幌大会)へ神戸市代表を派遣した。

[こうべ長寿祭] 平成21年4月12日～11月1日

・文化行事 囲碁, 将棋, 美術作品展

・スポーツ大会 13種目

ゲートボール, テニス, バドミントン, 卓球, 家庭バレーボール, ペタンク, ソフトテニス

ソフトボール, 弓道, ゴルフ, グラウンドゴルフ, 剣道, ふれあいウォークラリー

参加者数 2,985人(3,539人) 作品展 281点(269点)

[全国シルバー合唱コンクール] 平成21年9月18日

36団体 1,644人 (40団体 1,717人)

[全国健康福祉祭] 平成21年9月5日～9月8日

開催地: 北海道 神戸市代表 125人(121人) 作品展 12点(12点)

⑤ 「第20回こうべ福祉・健康フェア」の開催(再掲)

「1 福祉意識の啓発」の(4)③参照

⑥ ふれあいイベントの実施

ふれあいコンサート(4月),わいわいストリート(2回),マンスリーミニコンサート(毎月),リサイクルバザー(4回),バードウォッチングツアー(2回)ちびっ子写生会(5月),たこ作り・たこあげ大会(1月)を企画し,村内施設の利用者や市民が参画する機会を提供するとともに,高齢者・障がい者,ボランティア,来村者などすべての市民が交流する場を提供した。

参加者数 55,031人(52,037人)

⑦ 身体・知的障がい児ファミリーデイキャンプの実施

身体・知的障がい児とその家族がボランティアとともにゲームやキャンプを楽しむデイキャンプを実施した。

1回 23組 88人 (1回 24組 96人)

⑧ 村内開催イベントへの支援

KOBE OPEN国際車いすテニストーナメント(4月),神戸カップグラウンドゴルフ交歓大会(4月),神戸市グラウンドゴルフ交歓大会(7月),関西学生女子駅伝競走大会(9月),しあわせ健康駅伝競走大会(12月),KOBEトラック&フィールドスクール(年6回)等のイベントについて,支援・協賛した。

⑨ 市民公募型イベントの募集及び実施

市民との協働による福祉の推進と村の活性化を目指して,イベント企画を公募し,運営経費の一部を助成した。

公募2回,助成2件

「しあわせの村にミニSLがやってくる!」 参加者数 600人

「たんぽぽ 森のカーニバル」 参加者数 600人

(5) ボランティアの養成と活動推進

「しあわせの村」の理念を実現するには,村でのボランティア活動の果たす役割も大きいことから,ボランティア養成に係る講習会を開催するとともにボランティアが活動しやすい環境の整備や活動機会を積極的に提供した。

① ボランティアの養成を目指した講座の開催(再掲)

「2 市民の福祉活動の振興」の(3)参照

② ボランティア活動の推進

協会が主催する事業にボランティアの参加を広く求め、活動の場の提供と活動の支援を行った。

ア 障がい児、障がい者向けスポーツ教室の指導補助

登録82人 延1,313人 (82人 延1,300人)

イ 見学者への村内施設のガイド 登録18人 延 66人 (18人 延 63人)

ウ 各種イベントの運営補助 登録89人 延 59人 (89人 延 58人)

エ 花・緑ボランティア 登録68人 延 312人 (61人 延 314人)

オ 村内活動サークルのボランティア

○ 点訳サークル「シックスポイント」 登録32人 (32人)

(活動内容) 点訳講習会講師派遣, 村内各種表示の点訳, イベントにおける点字コーナー等の出展

○ 手話サークル「すずらん」 登録49人 (53人)

(活動内容) 手話講習会修了者のスキルアップ, 聴覚障がい者への情報提供と交流促進, 協会主催イベントでの手話通訳

(6) 神戸市シルバーカレッジの管理運営

① 高齢者の豊富な経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会に還元することを目指す学習・交流の場として、シルバーカレッジの管理運営を行った。

ア 学生数

・定員 1,260人(一学年 420人)

・在籍者数 1,158人(平成21年度末現在, 休学者を含む。)

イ 入学資格

市内に住所を有する57歳以上の方

ウ コース編成

・健康福祉コース

・国際交流・協力コース

・生活環境コース

・総合芸術コース(美術・工芸, 音楽文化, 園芸, 食文化)

エ 授業

共通・専門・地域交流・スポーツ授業を組み合わせたカリキュラムにより、ボランティア精神を培えるよう実施した。

オ 社会還元

在校生の地域交流グループ、ボランティアグループ及び卒業生を中心とするNPO法人「社会還元センターグループわ」が、地域で各種社会還元活動を行い、建学の精神を実践した。

- ・地域交流グループ 62グループ (63グループ)
- ・ボランティアグループ加入者数 1,039人 (971人)
- ・グループわ登録会員数 1,171人 (1,146人)

② 公開講座等の実施

広く一般市民に学習機会を提供するため、夏季公開講座、まちかどキャンパス（垂水区）、一般聴講講座（3回）を開催した。

また、高齢者と子どものふれあいの場として、おもちゃのリサイクルイベント「かえっこバザール」（約650人参加）を開催した。

③ 卒業生の主なボランティア活動実績

- ア シルバーパソコン講座の実施 活動 延 324人 (延394人)
受講 延1,193人 (延934人)
- イ 地域における介助・生活支援等福祉ボランティア、施設への慰問 活動 延7,467人 (延7,620人)
- ウ 外国人への日本語指導・生活相談、留学生との交流会の実施 活動 延 433人 (延1,016人)
- エ 里山づくり等環境保全、環境教育活動 活動 延3,594人 (延3,421人)
- オ 地域での青少年育成事業、イベント運営及びガイド等 活動 延6,406人 (延6,238人)
- カ 小学校・特別支援学校での子どもたちの学習支援活動等 活動 延3,036人 (延2,274人)

(7) 情報提供活動の推進

「しあわせの村」への理解・認知を高めるとともに、来村者誘致や福祉情報の提供を行った。

- ① 情報誌等各種媒体やイベント等の機会を利用した広報活動等
- ② ホームページをより魅力的で見やすい内容に刷新（平成21年12月）
（「しあわせの村」ホームページURL <http://www.shiawasenomura.org>）
アクセス件数 1,613件/日 (1,588件/日)
- ③ 視察団体の受け入れ 団体数 75団体 (101団体)

7 業務・経営改善の推進

協会では、平成20年度から3カ年の基本方針及びこれに基づく重点施策を示した「中期経営計画2010」を策定し、年次行動計画(アクションプラン)のもとで計画の実現に向け取り組んでいる。

計画の2年目である平成21年度は、「しあわせの村」事業では、民間事業者と連携し、利用者サービスの向上等行ったものの、新型インフルエンザの影響や、施設の老朽化に対する大規模改修の実施に伴う休業等により、入村者数及び施設利用者数については、計画目標を達成することができなかった。

また、共同事業体による「しあわせの村」の次期指定管理者の指定を受けたことから、業務の再編に伴う組織改正を行うとともに、職員配置においては、引き続き市派遣職員の固有職員等への置換えを行った。